

今月の一言

キーワード：^{しょうが}小我 と ^{しんが}真我

第一に、成功の秘訣は、その人に活力があるかどうか、その有無にかかっている。強い活力を持っていれば、それが仕事に反映し、生き方にも表れてくる。成功者は例外なく人に倍する活力を有している。

次に、真我と小我といったものについて触れてみたい。人はともすれば自分の小さな考えに固執し、大局を忘れがちである。これが小我を基準とした生き方である。しかし人間の個々の小さな我を超えた、もっと大きな普遍的真理とでもいうべきものがある。これが真我である。小我にとらわれず、真我に基準を置いていった時、その生き方には行きづまりがなくなる。

浅子は仕事の合間に、こういったことを考え、草案を練っていた。

著書：土佐堀川 著者：古川智映子より

後年、村岡花子は「自分が作家の道を志したのは、二の岡で過ごした夏がきっかけであった」と当時を振り返っています。勉強会で「小我（自分のためにしたいこと）に固執せず、真我（社会のために為すべきこと）を見つけなさい」という浅子の言葉に強い感銘を受けた花子は、社会の中で自分が行うべきこととして、「英米の青春読みものを日本の若い人たちに紹介したい」という志を強くします。その後花子は『赤毛のアン』をはじめ、今も少年少女に親しまれる名作の数々を世に送り出します。その背景には、二の岡での浅子との交流があったのです。

自分を磨き、器を大きくしよう！

2016年3月25日

さいのう とおる

追伸：三名の新入社員が入ります。全員で声を掛け合い、目標に向かって進みましょう！